

# ご接見の栄に浴して

広島県三原市

薬本 光明



この度、東宮御所に招かれまして、皇太子殿下のご接見の栄を賜り、ありがとうございます。感謝申し上げます。私は殿下に「広島で大工をしながら、社会福祉や小中学校に図書を贈る活動をしております」と申しました。「昭和四十八年から、今年で四十五年になります」と申しました。「目標五百枚」と申し上げました。「達成出来ませう様に願っております」

岩手県釜石市

佐藤レイ子



この度、長寿善行者として、東宮御所にお招きいただき、皇太子殿下のご接見の栄を賜り、ありがとうございます。感謝申し上げます。喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。ご参内の日は、雨降りでしたが、東京駅に着きましたら晴れて青空が広がりました。さわやかな気持ちで、明治記念館へ参りました。全国百十九名の長寿善行者の方々の説明の後、記念写真の撮影と会食をいただきました。その後、休息後、事務局の係の先導により東宮御所へ参内して、日月の間へご案内されて係の方から日月の間の絵画のご説明を受けてそのすばらしさに感動を受けながら皇太子殿下の入室をお待ちしました。間もなく、皇太子殿下が優しい笑顔でお出ましになられて、正面中

# 「受賞者の喜びの声」

善行表彰を受けて

栃木県宇都宮市

小野口順久



この度、平成三十年度秋季善行表彰式に「自然と文化財愛護」で賞状受取代表として受賞し、有難く心から感謝申し上げます。表彰の理由は、栃木県宇都宮市大谷町を中心とした活動の実績です。平成四年から約十年間を大谷町の観光の振興を

目的とする「大谷地区総合開発推進協議会会長」として、多気山頂の整備や眺望の確保、多気不動尊参道沿いに桜とモミジを植栽、大谷地区の奇岩群を覆う雑木や雑草を除去した結果見事な景観となり、「国の「名勝」となりました。平成十三年に大谷地区の観光と大谷石産業の振興を目的に「NPO法人大谷石研究会」を創設し理事長として、各種マスコミ対策や写真集「大谷石百選」を刊行、本年の「日本遺産」に大谷地区が認定されたことに多大な影響を与えました。この結果平成元年の大谷地区の大陥没事故以前の観光客数を上回る賑わいとなりつつあります。次は「世界遺産」を目指す計画です。

善行表彰を受けて

東京都台東区

小嶋 幸一

昭和の時代、台東区の小学校は全校「集団登校」を行っていました。頃からは、児童の安全のために、一方通行道路を小学校に向かかって車が入ってこないように「車止め」を出すように依頼されました。現在では地元の石浜小学校のみが、集団登校を行っており、更に清川地区では「下町の美しい心づくり」として登校時の児童に月に四回「おはよう」と声をかける運動も始まりました。学校の周辺の道路を使ってお「持久走」も行われております。持久走の時は、交差点に交通安全の旗を持って立ち、児童の安全を見守っております。私無事故で行われている事



が何よりです。朝七時三十分には車止めを出し、八時三十分には片づける。土曜日も、学校公開・行事などが有る時は車止めの出し入れを行っております。毎月の学校行事予定表をいただき、忘れることのないように注意しております。その様な生活・活動を三十年やって参りました。私自身、自分の健康のためと思い、これからは児童のために善行を続けていければと思っております。

善行表彰を受けて

岩手県奥州市

常盤地区防犯協会



この度、平成三十年度秋季善行表彰を賜りまして、厚く御礼申し上げます。当地区は、東北本線水沢駅から東部に位置し国道四号線を挟んで、金融機関、大型家電量販店の多い生活環境の変化の大きい地域であります。それらに伴い発生する犯罪事例も多いため「安全安心で住みよいまちづくり」が「最重要課題」と

目標を定め、平成十七年六月から常盤地区振興協議会、防犯協会、交通安全協会、奥州警察署常盤交番の四団体が主となり「リンリンパトロール隊」を発足させました。具体的活動状況は、当地区内は十三年の町内会があり各町内会単位で活動日、時間帯や参加者を決め、ハンドベルを鳴らしながら月に二回のパトロールを実施しています。今年で活動も十四年目に入り、高齢者から子ども達まで幅広い年齢層が気軽に参加できるパトロールとして定着しており、地域全体の防犯意識が高まっています。今回の受賞により当協会と、これを契機にさらなる精進をかさね、地域に根差した防犯活動を継続してまいりたいと思っております。結びに、一般社団法人日本善行会の益々のご発展をご祈念いたします。

善行表彰を受けて

群馬県高崎市

恩幣 敏夫



先般は秋季善行表彰で大変お世話になりました。ありがとうございます。全国的な皆様の活躍と日々のご活動への前向きな姿勢に接することができ、明日からは皆様から頂きました勇気をもち、もうひと踏ん張りを取り組んで参りたいと存じます。

## 善行川柳

選者 東 逸平

○人生は 持ちつ持たれつ ゆつたりと 北海道 齊藤 勉

評/新年には持つてこいの題材ですね。まず一献!今年も急がずにゆつたりと生きましようや。

○ポランテイヤ 明るい笑顔 語りかけ 静岡県 真野 和代

評/いつも明るい笑顔が語りかけてくるポランテイヤの集い、いいですね。

○善行は 笑みを浮かべて さりげなく 香川県 丸野 忠義

○シルバーに どうぞと幼 席を立つ 大分県 佐藤 満洋

評/《どうぞと幼》が分かりづらいですね。《シルバーに どうぞと幼児 席を立つ》ではどうでしょう。

## 大分県大分支部

「秋の全国交通安全運動」参加

秋の全国交通安全運動が九月二十一日から九月三十日までの十日間実施されました。私達大分支部も毎年交通安全運動に参加しており、今年も九月二十七日十四時から市内中心部のデパート前交差点で実施しました。先ず、松井支部長の挨拶。デパートに迷惑にならないように心がけ、交通安全の呼びかけ開始です。今年から協会の船瀬清子さんのご協力による「折り鶴とつまようじ、ミニ紙風船のセット」と交通安全協会から花の種の提供を受け、交通安全チラシと一緒に配りました。



配る時「この折り鶴は会費が心を込めて折りました。事故に遭わない様に気をつけてください。」と言いながら配りました。深々と頭を下げてくれる人、中には「花の種」と言ってお金を出す人、お断りをしながら一時間お断りがあつたと言った。交通安全の呼びかけでも交通安全の呼びかけで受け取る人達の反応に満足したようでした。



円覚寺の一隅  
画 穴井頼壽(前善行表彰選考委員長)